

原小学校保護者の皆様

廿日市市立原小学校  
校長 池田 賀子「令和3年度 全国学力・学習状況調査」並びに  
「令和3年度 広島県児童生徒学習意識等調査」の  
結果と指導法改善計画について

保護者の皆様には、平素より本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

本年度は「全国学力・学習状況調査」が中学3年生・小学6年生を対象に実施され、さらに「広島県児童生徒学習意識等調査」が、広島県内の中学2年生・小学5年生を対象に実施されました。本校では調査結果をもとに分析・考察し、今後の指導内容・指導方法等の改善について検討を行いました。

それをもとに基礎的・基本的な学力の定着をめざし、さらにわかりやすい授業の創造をめざしていきます。今後ともご協力・ご支援よろしく申し上げます。

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果（正答率％）〈6年生〉

	国語	算数
本校	74 %	70 %
広島県	66 %	70 %
全国	64.9 %	70.3 %

分類	国語	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		
			本校	広島県(公立)	全国(公立)
全体		14	74	66	64.9
知識及び技能	言語の特徴や使い方に関する事項	6	83.3	69.6	68.3
思考力・表現 力・判断力等	話すこと・聞くこと	3	90.5	79.1	77.8
	書くこと	2	50.0	64.0	60.7
	読むこと	3	57.1	48.4	47.2

分類	算数	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		
			本校	広島県(公立)	全国(公立)
全体		16	70	70	70.3
領域	数と計算	4	60.7	63.6	63.1
	図形	3	57.1	57.2	57.9
	測定	3	76.2	75.1	74.8
	変化と関係	3	71.4	76.2	75.9
	データの活用	5	77.1	76.2	76.0
評価の観点	知識・技能	9	74.6	73.7	74.1
	思考・判断・表現	7	63.3	65.9	65.1
	主体的に学習に取り組む態度	0			

## 指導方法の改善計画について

〈国語〉「言語の特徴や使い方に関する事項（漢字の読み書き・言葉の意味等）」「話すこと・聞くこと」「読むこと」の内容において力がついている。しかし、「書くこと」の内容において課題がある。

### 課題

#### 書くことの技能・表現力

- ・説明文の構成（頭括型、尾括型、双括型等）の理解。
- ・要約する技能（文字指定の範囲に要約して書き表すこと）
- ・修飾語の理解



#### 授業改善に向けて取り組むこと

- ・説明文の構成について、4年生くらいから「型」を教える。  
（原小学校作成の「国語の学習ガイド～説明文編～」の活用）
- ・要約、要旨をまとめる練習を積み重ねる。  
（例）「論理力ノート」の活用を工夫する。キーワードを見つける学習を積み重ねる。  
自分の考えを短い文章にまとめる練習を多く取り入れる。（型を教える）
- ・修飾語については、各学年のプリント集などで練習を積む。

〈算数〉基礎的な内容は概ね理解できているが、それを活用する力において課題がある。

### 課題

#### 「数と計算」「変化と関係」に関する領域の理解

- ・割り算の意味の理解（何を何で割るのか。）（割り算が5年生での「割合」「単位量当たりの大きさ」の理解の難しさにつながっている。）
- ・文や式を使って解き方を説明する問題に対して、解答することをあきらめてしまっている場合がある。



#### 授業改善に向けて取り組むこと

- ・割り算の学習が5年生での「割合」「単位量当たりの大きさ」「速さ」の学習につながることを意識して指導する。  
立式するとき「何を何で割ればよいのか」を、丁寧に指導する。
- ・5年生での「割合」「単位量当たりの大きさ」「速さ」の学習の導入段階での学習を大切に扱う。
- ・説明する力を伸ばすために、教科書で説明している場面を参考にして、児童が書いて説明する授業場面を作る。（数値だけを変えた適用題を用意して、説明の仕方に慣れる等）

〈家庭学習・学習生活等〉（5年生 広島県児童生徒学習意識等調査、6年生 全国学力・学習状況調査より）

#### ○児童の肯定的評価が広島県平均より高かった質問項目

- ・「学校の授業の予習をするようにしています。」
- ・「自分で勉強の計画を立てています。」
- ・「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。」
- ・「授業では、考えたり提案したりしたことについて、実際に取り組んでいます。」
- ・「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。」
- ・「自分には、よいところがあります。」
- ・「自分のよさは、まわりの人から認められていると思います。」

#### ○児童の肯定的評価が広島県平均より低かった質問項目

- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ています。」



#### 改善に向けて取り組むこと

- ・予習や自分で学習計画を立てること（自主学習）に対する自己評価は高いのですが、その内容をさらに高めていく必要があると感じています。指導者が宿題の内容と質を高めていくことをめざします。そして、児童が目的意識をもって自主学習をすることができるように指導していきます。
- ・相手に分かりやすく伝えるように発表することへの自己評価は高くなっていますが、自分の考えに自信をもつことができなったり、間違った発言をすることへの不安が大きかったりして、発言をためらう児童の姿も見られます。「間違いからみんなで学ぶ」という風土を育てる学級づくりをめざします。
- ・生活のリズムをしっかりと作ることができていないのではないのでしょうか。これは、メディアとの付き合い方が大きく影響していると考えられます。平日にテレビや動画視聴、ゲームなど4時間以上費やしている児童もいます。生活リズムを作ることができている児童は、メディアに接している時間が少ない傾向にあります。それぞれのご家庭で、メディアとの付き合い方について児童と話し合う機会を持っていただきたいと思います。